（様式第１号）

　一部改正［令和３年規程第119号］

動物実験計画書

令和　　年　　月　　日　提出

長崎県立大学学長　様

* 受付No.

長崎県立大学動物実験規程第６条に基づき、下記のとおり申請します。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実験責任者  (本学教員に限る。) | | | | (所属・職名)  (氏名) | | | | |
| 動物実験の実施場所 | | | | □E105動物実験室　　□その他(　　　　　　　　　　　　　　　　　) | | | | |
| 動物の飼養場所 | | | | □E105動物実験室　　□その他(　　　　　　　　　　　　　　　　　) | | | | |
| 研究課題 | | | |  | | | | |
| 動物実験の目的 | | | |  | | | | |
| 動物実験の実施予定期間 | | | | 令和　年　月　日～令和　年　月　日 | | | 新規 | 継続 |
| 使用動物(本実験に使用する全ての動物について記入) | | | | | | | | |
| 動物種 | 系統 | 性別 | 匹数 | | 入手先(業者名、分与機関名等) | 微生物学的品質  (どちらかに○) | | |
|  |  |  |  | |  | SPF・コンベンショナル  SPF・コンベンショナル | | |
| 想定される苦痛の  カテゴリー | | □B 脊椎動物を用い、動物に対して殆どあるいは全く不快感を与えないと思われる実験。  □C 脊椎動物を用い、動物に対し軽度のストレス又は痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験。  □D 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレス又は痛み(長時間持続するもの)を伴うと思われる実験。  □E 無麻酔下の脊椎動物に、耐うる限界に近い、またはそれ以上の痛みを与えると思われる実験。 | | | | | | |
| 動物実験の計画・方法(動物に加える処置、飼養動物数の根拠等について具体的に記入する) | | | | | | | | |
|  | | | | | | | | |
| 動物実験を必要とする理由(該当するものに○を付けその他にはその内容を記入) | | | | | | | | |
| 1　代替手段がない。　　　2　代替手段の精度が不十分　　　3　代替手段の経費が大きすぎる。  4　その他(内容；　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　) | | | | | | | | |
| 動物の苦痛排除の方法(該当するものに○を付け(　)内にその実際を記入) | | | | | | | | |
| 1　特に苦痛はない。　　　2　短時間の手や器具による保定  3　麻酔薬等投与(薬剤名：　　　　　　　　　　　　　　　)  4　その他(内容；　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　) | | | | | | | | |
| 安楽死法(該当するものに○を付けその他にはその内容を記入) | | | | | | | | |
| 1　麻酔薬等過剰投与(薬品名：　　　　　　　　)　　2　頸椎脱臼　　　3　炭酸ガス  4　その他(内容；　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　) | | | | | | | | |
| 動物実験者(実験を行う全員を記入すること。) | | | | | | | | |
| (所属・職名等・氏名) | | | | | | | | |
| ※動物実験委員会記入欄 | | | | | | | | |
| 審査終了：令和　　年　　月　　日  修正意見等：  審査結果：  　□本実験計画は、本学における動物実験規程等に適合する。  　□本実験計画は、本学における動物実験規程等に適合しない。    　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　動物実験委員会　委員長 | | | | | | | | |
| ※学長承認欄 | | | | | | | | |
| 本動物実験計画を承認します。　　令和　　年　　月　　日  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　長崎県立大学　学長 | | | | | | | | |

　注1　※の欄は、記入しないこと。

　　2　□は、該当するものにレを付け必要事項を記入すること。